

# ほっかいどうの社会保障

2009年2月12日

北海道社会保障推進協議会

## 「雇用・くらし『SOSネット』ワーク北海道」が発足 2/20街頭相談会・「常設相談ホットライン」で 「人間らしい」生活確保のサポートを

「派遣・請負労働者40万人が3月までに失業」（製造業）の業界試算や、札幌ロビンソンにつづいて小樽グランドホテルの閉店、西武デパートの撤退、丸井今井の民事再生申請など、3月度末を前に雇用・営業・生活の不安が広がっています。職を失い、寮を負われ、寝場所もない人々が大量につくられている現実を前に、「失業や貧困」「社会的排除」を生まない連帯したとりくみが求められています。

今回、道労連や道生連、道社保協、民医連、新婦人、道勤医協などに弁護士や司法書士が結集して「雇用・くらしSOSネットワーク北海道」を立ち上げました。ホームレス支援をしてきたボランティア団体や不動産会社、さらには自治体とも連携しながら活動をすすめます。

### 【当面の活動】

- 街頭共同相談会**
  - ・2月20日（金）10:00～20:00 地下街オーロラスクエア（札幌市役所を降りたところ）
  - ・労働（解雇・雇止め・労働条件）・住居・生活（生活保護申請も）・医療・教育・年金  
その他法律相談
  - ・3月17日にも予定
- 相談ホットライン**・2月20日（金）開始・21日（土）からは電話で相談・時間10:00～20:00・月曜日から金曜日まで
  - ・電話番号フリーダイヤル 0120-378-060
- 相談員・サポーター・カンパ大募集**
  - ・相談員や相談に対応した「つきそい」サポート、カンパを募集します。

## 介護保険料・芦別市引き下げ、帯広市は据え置き

芦別市は、介護給付準備基金（剰余金）1.8億円を見込んでいます。当初、将来の負担増のために多少の保険料アップは止む得ないと議論していましたが、介護保険料を100円下げる案が審議会で決まりました。現行保険料は39,600円ですが、基金（剰余金）から約8千万円を財源に38,400円とするとしています。

帯広市は、介護保険料を据え置く方針を決めました。この間、十勝社保協は、7.4億円ある基金を保険料引き下げにあてる等の改善の要望書を提出していましたが、保険料の引き下げにはなりませんでしたが、基金4.9億円を充当して据え置きとしたものです。

## 生存権裁判を支援する北海道の会第2回総会 200名を超える参加で大成功

2月10日第2回の生存権裁判を支援する会総会に、名寄市立大学生35人の参加も含め205人の参加で成功し、運動が確実に広がっていることが確信できる総会となりました。



## 2.21「社会保障拡充総行動」に参加しよう！

### 《札幌》人間らしく暮らしたい 社会保障予算の大幅増額を 2.21市民集会

- ・2月21日（土）14:00～17:00 札幌エスタ11F プラニスホール
- ・第一部 「構造改革」被害当事者の発言・第二部 「もやい」スタッフ・富樫匡孝さんを迎え

### 《釧路》生存権裁判支援・社会保障予算の拡充を求める集い

- ・2月21日（土）14:00～ まなぼっと
- ・講演「現在の貧困と生存権保障」 中島 哲弁護士（生存権裁判弁護団事務局長）

### 《旭川》旭川・上川社保協総会・講演会

- ・2月21日（土）14:00～ 一条クリニック3F会議室
- ・講演「現在の貧困と社会保障～「派遣村」は何を伝えたのか」 高田 哲 名寄市立大教授

### 《函館》社会保障費予算増額街頭宣伝

- ・2月22日（日）13:30～ 五稜郭北洋銀行前